




安全データシート

<p>1 化学物質等 および会社 情報</p>	<p>〔製品名〕 促進剤 P I C O</p> <p>〔製品説明〕 種類 : 不飽和ポリエステル樹脂塗料用添加剤 主な用途 : F R P 製品用他</p> <p>〔会社名〕 九州塗料工業株式会社</p> <p>〔住所〕 福岡県大川市酒見 3 8 番地</p> <p>〔担当部門〕 大木工場技術課 電話番号 : 0944-33-0333 F A X 番号 : 0944-33-0335</p> <p>〔緊急連絡先〕 担当部門に同じ</p> <p>作成日 : 2001年 2月 26日 改訂日 : 2015年 12月 1日</p>
<p>2 危険有害性 の要約 (1)</p>	<p>【 G H S 分類】</p> <p>引火性液体 : 区分 2</p> <p>急性毒性 経口 : 区分外</p> <p>経皮 : 区分外</p> <p>吸入 (ガス) : 分類対象外</p> <p>(蒸気) : 区分外</p> <p>(粉塵、ミスト) : 区分外</p> <p>皮膚腐食性 / 刺激性 : 区分 2</p> <p>眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 区分 2</p> <p>呼吸器感作性 : 区分 1</p> <p>皮膚感作性 : 区分 1</p> <p>生殖細胞変異原性 : 分類できない</p> <p>発がん性 : 区分 2</p> <p>生殖毒性 : 区分 1 B</p> <p>授乳に対する、または授乳を介した影響 : 区分外</p> <p>特定標的臓器 / 全身毒性 (単回ばく露) : 区分 1 (呼吸器系) 区分 2 (呼吸器、中枢神経系、肝臓、腎臓) 区分 3 (麻酔作用)</p> <p>特定標的臓器 / 全身毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (呼吸器、神経系、肝臓、精巣)</p> <p>吸引性呼吸器有害性 : 区分 1</p> <p>水生環境有害性 (急性) : 区分 2</p> <p>水生環境有害性 (慢性) : 区分 2</p>
	<p>【 G H S ラベル要素】</p> <p>〔絵表示〕   </p> <p>〔注意喚起語〕 危 険</p> <p>〔危険有害性情報〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引火性の高い液体および蒸気 ・強い目刺激 ・アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ ・長期的影響により水生生物に毒性有り ・臓器 (呼吸器、中枢神経系、肝臓、腎臓) の障害のおそれ ・皮膚刺激 ・吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ ・発がんのおそれの疑い ・飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ ・臓器 (呼吸器系) の障害 ・眠気めまいのおそれ ・長期または反復暴露による臓器 (呼吸器、神経系、肝臓、精巣) の障害のおそれ

<p>2 危険有害性の要約(2)</p>	<p>〔注意書き〕</p> <p>《予防策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。 ・容器を接地しアースをとるなどの静電気放電に対する予防措置を講ずること。 ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 <p>《応急措置》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の場合：消火するために炭酸ガス泡又は粉末消火器、乾燥砂を使用すること。 ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 ・汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯すること。 ・目の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。 ・呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。 ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。 ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 ・漏出物を回収すること。 <p>《保管》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器を密閉し、換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。 <p>《廃棄》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容物又は容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、産業廃棄物処理業者に業務委託すること。
--------------------------	---

<p>3 組成及び成分情報</p>	<p>化学物質等の特定 : 混合物</p>		<p>毒物・劇物法該当 : 該当せず</p>	
	<p>成分及び含有量(危険有害物質を対象)</p>			
	成分名	CAS No.	濃度 (%)	備考
	酢酸エチル	141-78-6	45~ 50	
	2-エチルヘキサン酸コバルト (コバルトとして)	136-52-7	18.8 3	PRTR1種 132 PRTR1種 132
	ミネラルスピリット	8052-41-3	10~ 15	
	1,2,4-トリメチルベンゼン	95-63-6	2.4	PRTR1種 296
	キシレン	1330-20-7	1.4	PRTR1種 80
	エチルベンゼン	100-41-4	0.2	PRTR1種 53

4 応急処置	目に入った 場合	直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全にあらうこと。 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
	皮膚に付着 した場合	付着物を布で素早く拭き取る。 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
	吸入した 場合	蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。 蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
	飲み込んだ 場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
5 火災時の 処置	使用可能 消火剤	水 []、炭酸ガス []、泡 []、粉末 []、 乾燥砂 []、その他 []
	消火方法	適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 指定の消火剤を使用すること。 高温にさらされる密閉容器は水を掛けて冷却する。 消火活動は風上から行う。 容器は高温で破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を十分に取ること。
6 漏出時の 処置	<p>作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。</p> <p>漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。</p> <p>乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。</p> <p>大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。</p> <p>付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。</p> <p>着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。</p> <p>衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。</p> <p>付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。</p> <p>河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。</p>	
7 取扱いおよ び保管上の 注意	<p>取扱上の注意</p> <p>換気の良い場所で取り扱う。</p> <p>容器はその都度密栓する。</p> <p>周囲で、火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。</p> <p>静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。</p> <p>工具は火花防止型のものを使用する。</p> <p>作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。</p> <p>スプレードストや製品が付着した布、紙、ローラーなどが積み重さなると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。</p> <p>皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。</p> <p>取扱後は手・顔などを良く洗い、休憩所等に手袋などの汚染した保護具を持ち込まないこと。</p> <p>密封された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。</p> <p>酸化剤と混合接触させないこと。</p>	
	<p>保管上の注意</p> <p>日光の直射を避ける。</p> <p>通風の良いところに保管する。</p> <p>火気、熱源から遠ざけて保管する。</p> <p>40℃以上のところで保管しないこと。</p> <p>水回りや湿度の高いところに保管すると、容器腐食して破裂のおそれがあるので保管場所に注意すること。</p> <p>消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用すること。</p>	

8 暴露防止及び保護措置	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他有害性
	酢酸エチル	200 ppm	400 ppm		LD50(経口):>5,000mg/Kg
	2-エチルヘキサン酸コバルト (コバルトとして)			2B	
	ミネラルスピリット		100 ppm		LD50(経口):>5,000mg/Kg (ラット)
	1,2,4-トリメチルベンゼン		25 ppm		LD50(経口):5,000mg/Kg rat
	キシレン	50 ppm	100 ppm	3	LD50(経口):4,300mg/Kg
	エチルベンゼン		100 ppm	2B	LD50(経口):3,500mg/Kg
施設対策					
<p>取り扱い施設は防爆型を使用する。 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るよう設置する。 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような施設とすること。 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど作業者が直接暴露されない施設とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような施設にすること。 タンク内部などの密閉場所で作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気ができる装置を取り付けること。</p>					
保護具	目の保護	取り扱いには保護メガネを着用すること。			
	皮膚の保護	有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する。			
	呼吸系の保護	有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では送気マスクを着用する。 スプレー作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。			
	その他の保護具	静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用すること。			
9 物理的及び化学的性質	状態 : 液体 色 : 紫色 臭気 : 溶剤臭 pH値 : 該当せず 沸点 : 77.2~ 164 引火点 : 8.9 爆発限界 : (下限) 0.9% (上限) 11%	蒸気圧 : 13332.0Pa 蒸気密度 : データなし 密度(比重) : 0.91 溶解度 : データなし n-オクタノール/水分配係数 : データなし 発火点 : 288.0 分解温度 : データなし			
10 安定性及び反応性	反応性安定性	通常の条件下では安定である。			
	危険有害反応可能性	接触による危険性のある物質 酸化剤			
		燃焼などによる有害性ガスの発生 CO、NOx、低分子モノマー等の有毒ガスを発生する恐れがある。			
		その他の反応情報			
避けるべき条件	高温、火花、裸火、静電気火花				
その他の危険性情報					

<p>1 1 有害性情報</p>	<p>急性毒性 吸入（蒸気）： エチルベンゼン（区分4）</p> <p>皮膚腐食性 / 刺激性 : ミネラルスピリット（区分2）、1, 2, 4 - トリメチルベンゼン（区分2）、キシレン（区分2）、エチルベンゼン（区分3）</p> <p>眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 酢酸エチル（区分2B）、2 - エチルヘキシル酸コバルト（区分2B）、1, 2, 4 - トリメチルベンゼン（区分2B）、キシレン（区分2A）、エチルベンゼン（区分2B）</p> <p>呼吸器感作性 : 2 - エチルヘキシル酸コバルト（区分1）</p> <p>皮膚感作性 : 2 - エチルヘキシル酸コバルト（区分1）</p> <p>発がん性 : 2 - エチルヘキシル酸コバルト（区分2）、エチルベンゼン（区分2）</p> <p>生殖毒性 : キシレン（区分1B）、エチルベンゼン（区分1B）</p> <p>特定標的臓器 / 全身毒性（単回ばく露） : 酢酸エチル（区分1 呼吸器系）（区分3 麻酔作用）、ミネラルスピリット（区分3 麻酔作用、気道刺激性）、1, 2, 4 - トリメチルベンゼン（区分3 気道刺激性、麻酔作用）、キシレン（区分1 呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓）（区分3 麻酔作用）、エチルベンゼン（区分2 中枢神経系）（区分3 気道刺激性）</p> <p>特定標的臓器 / 全身毒性（反復ばく露） : ミネラルスピリット（区分2 肝臓、精巣）、1, 2, 4 - トリメチルベンゼン（区分2 皮膚、呼吸器、血液、中枢神経）、キシレン（区分1 呼吸器、神経系）</p> <p>吸引性呼吸器有害性 : ミネラルスピリット（区分1）、1, 2, 4 - トリメチルベンゼン（区分1）、キシレン（区分2）、エチルベンゼン（区分1）</p>
	<p>組成物質に関するその他の有害性情報 酢酸エチル、ミネラルスピリット、1, 2, 4 - トリメチルベンゼン、キシレンは麻酔作用がある。</p>
	<p>製品に関する有害性情報 製品としての安全性試験は行っていない。</p>

